

第2回京都大学消化管外科学術セミナー

2022

9/30(Fri)

17:15~18:15

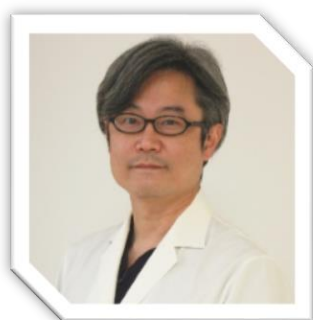
WEB視聴も可能です！

是非ご参加ください！

開催場所・視聴方法

- 会場：京都大学医学部附属病院 中病棟 6階 共通カンファレンス室（京大関係者は会場参加可能）
- 参加：京大外科交流センター会員サイト また センター事務局までお問い合わせください。
- Mail : kuhpgeka@kuhp.kyoto-u.ac.jp

司会：京都大学消化管外科 教授 **小濱和貴** 先生



iRGDをはじめとする腫瘍透過性ペプチドは、癌治療の効率を大幅に改善する可能性を秘めた、大変有望な薬剤です。ドラッグデリバリーシステムにおける game changer になりうるこのペプチドについて、コロンビア大学の菅原先生に御講演頂きます。菅原先生は膵臓外科医でありかつ iRGD の研究者で、創薬ベンチャー“Cend Therapeutics”の共同創業者でもあります。多彩な顔を持つ菅原先生のセミナー、ぜひお見逃しなく！

『腫瘍透過性ペプチド

～発見からベッドサイド、そしてその先へ～』

Herbert Irving Assistant Professor in Surgery

Division of GI and Endocrine Surgery, Pancreas Center

Columbia University Vagelos College of Physicians and Surgeons

New York, NY

菅原一樹 先生



講演要旨

腫瘍透過性ペプチドは固形腫瘍の奥深くまで浸透するため、以前のシステムでは到達できなかった領域に薬物や造影剤をデリバリーすることが可能です。

この技術は、さまざまな癌の治療に革命をもたらす可能性を秘めています。実際、ペプチドの1つである **iRGD** については、現在、膵臓がんなどの消化器がんを対象とした複数の国際第1相および第2相臨床試験が進められています。

このセミナーでは、腫瘍透過性ペプチドがどうやって発見されたのか、有用性はどうなのか、そして腫瘍透過性ペプチドを用いたがん治療の将来についてお話しいたします。